

平成 31 年 4 月 15 日

公益財団法人佐賀未来創造基金
理事長 山田 健一郎 様

住 所 佐賀県佐賀市本庄町 1 佐賀大学農学部
団体名 浅海干潟環境学 lab
役職/代表者名 ユニットリーダー/ 郡山益実

第1回 “荏原環境プラント 「e-さが基金」”助成事業 実績報告書

2018年6月28日付で交付された、東よか干潟における塩生植物群落のハビタット評価事業について、下記のとおり事業を実施したので、関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業実績報告書（別紙1）
2. 事業収支決算書（別紙2）
3. 事業決算内訳書（別紙3）
4. その他必要な書類
 - ・決算内訳書の記載内容に該当する領収書の写し
 - ・事業実施の様子がわかる写真
 - ・事業実施に際して配布した資料（開催チラシなど）

第1回“荏原環境プラント「e-さが基金」”事業実績報告書（別紙1）
事業実績報告書

事業名	東よか干潟における塩生植物群落のハビタット評価
事業主体	浅海干潟環境学 lab
事業内容	<p>東よか干潟におけるシチメンソウヤード周辺を対象に複数の調査地点を設置し、1) シチメンソウ群落のハビタット環境及び生育調査と2) シチメンソウ以外の他の塩生植物の空間的な分布状況をモニタリングした。ここで、1) のハビタット環境として底質（塩分、pH、含水率、有機物量、ECなど）、シチメンソウ群落の生育環境としてシチメンソウの草丈及び色づきの経日変化をモニタリングした。次いで、2) の塩生植物群落の空間分布の調査には、ドローンを用いて対象エリア全域の空中写真撮影を行い、PhotoScanにより空中写真をオルソ化した。また、踏査調査によりシチメンソウ以外の塩生植物の分布調査を行い、オルソ化した画像に他の塩生植物の分布をマッピングし植生図を作成した。</p>
活動経過	※事業全体の開始年月日および終了年月日を明記してください。
	<p>本事業の活動は、2018.7/12～2019.3/31の期間で行い、主な活動内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1). シチメンソウ群落のハビタット環境調査：2018.7/12、7/19、7/24、8/3、8/20、8/27、9/5、9/14、9/18、10/15、10/23、11/9、11/19、12/10、12/17、2019.1/8、1/16、2/6、2/14、3/5、3/18 2). ドローンと踏査による塩生植物群落の分布調査とデータ整理：2018.10/3～2019.1/17 3). 1). で採泥した底質サンプルの底質分析：2018.8/1～2019.3/31
事業実施の成果・効果	<p>本事業の調査には延べ75名の一般市民と学生が参加し、本事業により東よか干潟保護ヤード周辺の塩生植物群落の分布性が把握された。また、昨年大規模に発生したシチメンソウの立ち枯れ被害の拡大状況が明らかにされ、立ち枯れ被害と底質塩分環境との関連性が把握された。本事業で得られた知見は、佐賀市東与賀支所が開催したシチメンソウの生育状況に関する意見交換会で情報提供し（2018.10/30、2019.1/28）、今後の保全対策の検討資料として大きく寄与した。また、佐賀市立大詫間小学校の環境学習（参加児童数46名、2018.11/27）においてシチメンソウの生育環境に関する話題提供し、子どもたちの干潟環境や生態系の理解の促進に大きく寄与した。さらに、本事業のデータは、佐賀大学における教養教育のグループ研究や学部の卒業研究などに用いられ、大学の環境教育に広く活用された。</p>
今後の事業展開（活動方針）	<p>引き続き東よか干潟におけるシチメンソウ以外の塩生植物群落の侵入・拡大状況をモニタリングする。また、より網羅的な底質分析を行い、昨年起こったシチメンソウの大規模な立ち枯れ被害の原因究明や中長期的なシチメンソウの保全対策について検討する予定である。</p>
その他特記事項	

第1回“荏原環境プラント「e-さが基金」” 事業収支決算書（別紙2）
事業収支決算書

	区分	予算額(円)	決算額(円)	増減額(円)
	第1回“荏原環境プラント 「e-さが基金」” 助成金	(ア) 350,000	① 350,000	
	自己資金			
収入	事業収益金			
	その他の収入			
	合計	350,000	350,000	

	費目 ※勘定科目を記載	予算額(円)	予算額の内、 本助成金による 予算額(円)	本助成金による 決算額(円)	増減額(円)
	消耗品費	315,900	315,900	315,900	
	謝金	34,100	34,100	34,100	
支出	合計	350,000	(イ) 350,000	② 350,000	

※(ア) = (イ)となります。

※① = ② = ③となります。

第1回“荏原環境プラント「e-さが基金」”事業決算内訳書（別紙3）
事 業 決 算 内 訳 書

(単位：円)

費 目	金 額	内 訳 (単位：円)
消耗品費		
	30,240	水位計コマンダー
	4,860	センサーケーブル 3m
	183,600	UV254 ポータブルメータ キュレット ¥85,000×2
	10,800	UV254 ポータブルメータ専用 電源
	21,600	Phantom3 用アルミケース
	64,800	Phantom3 用バッテリー ¥8,100×6
謝金		
	4,400	2018/7/24 ドローン調査 4h (9:30-13:30)
	4,400	2018/8/20 ドローン調査 4h (9:30-13:30)
	4,400	2018/9/18 ドローン調査 4h (9:30-13:30)
	5,500	2018/10/3 ドローン調査 5 h (9:00-14:00)
	3,300	2018/10/9 画像処理 3h (14:00-17:00)
	3,300	2018/11/9 水位計準備と設置 3h (13:00-16:00)
	5,500	2018/12/14 ドローン調査 5 h (9:00-14:00)
	3,300	2018/12/17 画像処理 3 h (13:00-16:00)
		* 謝金の時給は佐賀大学大学院 TA の時給に準拠し ¥1,100 とする。
合 計	(③) 350,000	

※① = ② = ③となります。